

太田市足尾鉍毒展示資料室は、今回『公害等調整委員会の時代』を中心に展示を行います。

当地域における戦後の鉍毒根絶運動再燃の契機は、1958年の足尾銅山源五郎沢堆積場決壊と1971年の群馬県農政部の調査による毛里田地区産玄米からのカドミウムの検出です。

ここに至り、板橋明治を筆頭代理人とし提訴者971名は、1972年に総理府の中央公害審査委員会（後の公害等調整委員会）に対し古河鉍業株（現 古河機械金属株）を相手方に鉍滓による農作物被害の損害賠償を求め調停申請を行いました。そして、調停を重ねること12回、1974年に調停が成立します。

今回は、この時代の文書、写真、鉍毒被害の稲の現物並びに足尾鉍毒の図等を展示します。

皆様、是非ご来場ください。

#### 板橋 明治 氏の略歴（1921.6～2014.12）

- 1952年：毛里田村議会議員となる。
- 1956年：毛里田村議会議長となる。
- 1958年：毛里田村鉍毒根絶期成同盟会設立。副会長となる。
- 1962年：毛里田村鉍毒根絶期成同盟会長となる。
- 1967年：太田市議会議員となる。
- 1972年：鉍滓による農作物被害の損害賠償を求め古河鉍業株を相手方に中央公害審査委員会に調停申請を行う。
- 1974年：足尾鉍毒事件において初めて古河鉍業株に責任を認めさせ調停が成立する。
- 1977年：「祈念鉍毒根絶」の碑建立。撰文及び揮毫。
- 1981年：渡良瀬川沿岸土地改良区理事長となる。
- 1994年：毛里田と葦川の期成同盟会が合併し、渡良瀬川鉍毒根絶太田期成同盟会設立。会長となる。
- 1995年：鉍毒史編纂委員会発足。委員長となる。
- 1999年：公害特別土地改良事業竣工記念碑建立。撰文及び揮毫。
- 2006年：鉍毒史上巻刊行。
- 2013年：鉍毒史下巻刊行。

### 利用案内

開室時間：午前9時～午後4時30分

休室日：毎週月曜日及び年末年始（12/29～1/4）

入室料：無料

### お問い合わせ

施設管理：太田市学習文化センター

〒373-0817 太田市飯塚町 1549-2 TEL 0276 (48) 6280

展示物管理：太田市役所環境政策課

〒373-8718 太田市浜町 2-35 TEL 0276 (47) 1893

### 交通のご案内

- 太田市足尾鉍毒展示資料室 群馬県太田市飯塚町 1549-2  
鉄道 東武伊勢崎線：太田駅からタクシー5分  
お車 北関東自動車道：太田桐生ICから20分
- 「祈念鉍毒根絶」の碑 群馬県太田市只上町 1167  
お車 北関東自動車道：太田桐生ICから5分



# 太田市足尾鉍毒展示資料室

渡良瀬川鉍毒根絶太田期成同盟会

## 運動の軌跡

苦惱 継ふまじ  
されど 史実は 伝ふべし  
受難 百年 また 還らず  
根絶の日 ぞ 何時

板橋 明治



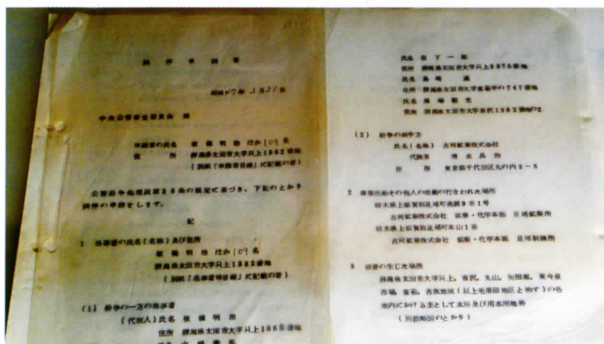
鉍毒史上巻・下巻  
編集 鉍毒史編纂委員会

# 『公害等調整委員会の時代』

## ◎ 公害等調整委員会に提出された文書

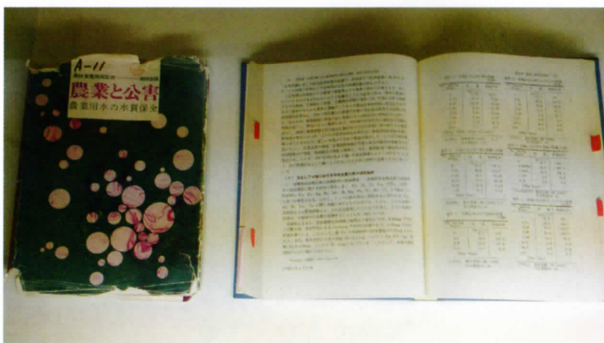
### 調停申請書

1972年、申請人[農民]は中央公害審査委員会に対し被申請人[古河鉱業株]の鉱山施設から発生する<sup>こうさい</sup>鉱滓による農作物被害について20年間の損害賠償を求め調停申請を行う。



### 農業と公害

有害金属の水耕液中の許容濃度に着目し、水稻根への銅の影響を記載した図書。



## ◎ 公害等調整委員会の時代の写真

### 箕子橋堆積場の築堤

1971年、重液選鉱（銅と他の金属を選り分けること）の過程で発生する廃石を利用し、築堤される箕子橋堆積場の様子を撮影した写真。  
—林えいだい氏撮影—



### 鉱毒溜

用水中の懸濁物質の沈殿を目的に水田の水口ごとに掘られた小沈澱池。面積はおおよそ5㎡。



## ◎ 水稻育成被害を語る物資料

### 毛里田地区減収被害（水稻）

1962年、群馬県の水稲収量調査の比較で水田の水口、中央、水尻の一坪当たりの玄米重に540g、890g、1,210gの差異が認められた。

